

飯塚・嘉麻トピックス

わが街の話題

消えゆく「幻の石橋」を守るために—— 「桑野の梯橋」保存プロジェクト

嘉麻市の山あいにはひっそりと佇む「桑野の梯橋(くわののかけはし)」は、150年以上前に築かれた全国でも珍しい「リブアーチ型」の石橋です。地元の花こう岩を用い、柱状の輪石を縦列に組む独特の技法は、日本本土では類を見ない貴重なものとされています。しかし現在、橋を支える岩盤が脆くなり、崩落の危機に瀕しています。

この状況を受け、嘉麻市は令和4年11月から約2ヶ月間にわたり、クラウドファンディングを実施しました。目標額800万円に対し、全国から5,802,441円(達成率72%)の支援が寄せられ、多くの方々の関心と協力を得ることができました。

このプロジェクトのきっかけをつくったのは、福岡県立朝倉高校史学部の生徒たちです。彼らの調査活動によって、地図にも載っていないかったこの石橋の歴史的価値が明らかになり、令和5年5月には嘉麻市の指定有形文化財に登録されました。

かつてこの地域には、優れた技術を持つ石工たちがいたとされています。「桑野の梯橋」は、そうした職人たちの技を今に伝える貴重な文化財です。その保存は、地域の歴史や文化の継承にもつながります。

集まった支援金は、橋の緊急保全に充てられる予定です。嘉麻市は「この機会に、多くの方に「桑野の梯橋」の存在を知ってもらい、文化財を守る大切さを考えるきっかけになれば」と語っています。今後の保全活動の進捗は、嘉麻市の公式ホームページやSNSで発信される予定です。

「幻の石橋」が未来へと受け継がれていくことを願いながら、嘉麻市ではこれからも保全活動を進めていかれるとのことです。

このプロジェクトのことは
右の二次元コードでもご覧いただけます



八木山バイパス再有料化

1985年に有料道路として開通し、現在は無料のバイパスになっていますが、県の主要東西軸を担うことから渋滞が激化し4車線化が進められてきました。

2025年3月に西半分の篠栗～筑穂間(約5.7km)が完成予定で、それにあわせて再有料化されます。これにより八木山峠の通行量が増えるのでしょうか…

尚、残る東半分の筑穂～穂波東館(約7.6km)の4車線化完成は2029年度内とのことです。

新料金	軽自動車等	220円
	普通車	280円
	中型車	330円
	大型車	450円



女子制服のストラックス導入

近年、性別に関係なく着ることができるようジェンダーレス制服の1つとして、今までスカートのみだった女子制服にストラックスを導入する学校が増えています。

母校でも女子制服のスカートとストラックスの選択ができるようになっています。



▲冬服



▲夏服

年会費納入のお願い

平成26年度より正会員の会費として、同窓会会員の皆様から年会費3,000円をご納入いただいております。詳細は同封の「年会費納入のお願い」をご覧ください。郵便局・コンビニに加えてご自宅からスマホにてPayPay・LINE Pay・au PAY・PayBでの入金が可能となりました。振込用紙に出力されているバーコードを読み取り決済してください。皆様からの温かいご支援・ご協力を何卒お願い申し上げます。※PayPayでの入金例を記載いたします。①「請求書払い」を選択 ②「請求書を読み取る」を選択 ③スマホをバーコードにかざす。④支払い金額を確認して「支払う」を選択、以上で完了です。

本部通信

■同窓会会員名簿の発行について

現在、名簿発行のための住所調査と冊子内への広告・協賛のご案内を委託業者の株式会社サラト様より進行中です。出来上がりを楽しみに購入申込みされている会員さんに届いた際は、紛失や貸与などされないように、取扱いは充分ご注意ください。よろしくお願いいたします。

■住所変更について

会員の皆様の住所等変更については同窓会公式ホームページ内のお問い合わせページからも受け付けております。どうぞご利用ください。

お知らせ

このたび高校16回生から、同窓会へ237,771円の寄付をいただきました。ありがとうございます。

編集 後記

三寒四温の言葉どおり寒さと温かさが入り混じる毎日ですが、月はもうすぐ4月。何か新しいことをチャレンジしたくなります。卒業していった生徒達もこれからの新しいチャレンジに不安もあるけど、心躍らせていることでしょう。

そして今年の同窓会では、初の嘉穂東高校の体育館での開催になります。母校での同窓会、学生のころにタイムスリップして、みんなで楽しく笑いあえることを楽しみにしています。

今後も「東陵」「東陵・特別版」に加え、同窓会の公式ホームページで皆様からメッセージや多岐に亘る情報を発信してまいります。卒業生のご活躍や同期会の報告、教師の近況など皆様からの様々な情報お待ちしております。(広報部)

同窓会公式ホームページでは、同窓生の皆様からの情報をお待ちしております。

●同窓会公式ホームページアドレスは <https://kahohigashi-doso.net> です。

嘉穂東高校同窓会



東陵・特別版の発刊にあたって

福岡県立嘉穂東高等学校(全日制)同窓会 会長 花田 正(高校23回生)

同窓会長の花田です。昨年の役員改選で再任が了承され、引き続き同窓会長を継続させてもらうことになりました。会長として5年目に突入しております。引き続き同窓会のために努力していく所存でありますので、どうぞよろしくお願いします。

現在、同窓会会員の全体像をより正確に把握できる貴重な冊子である名簿製作に取り組んでいます。今年9月頃発刊予定です。発刊に関しましては可否について、この2年間、役員会・理事会で幾度となく検討してまいりまして、発刊を決定いたしました。

闇バイト強盗による殺人事件等、漏洩した個人情報を使った犯罪が問題になっております。同窓会名簿も悪用される可能性があります。

購入して頂いた会員の皆様は、同窓会名簿の取扱い、くれぐれも悪用されないよう適切に取り扱っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。また、6年後の名簿については、個人情報の側面とペーパーレス化のため、発刊が困難になると予想しております。

「東陵」は、毎年2回発刊しています。春の「特別版」と秋の「東陵」です。秋の「東陵」は、本部同窓会総会に向けての作成なので、配布部数が限られ、1,500冊程度です。それに対して、この「特別版」は、会員のほぼ全員に配布しておりますから発行部数は、17,000冊を超えています。それだけ、「特別版」はたくさんの同窓生に読まれています。編集部も、遠く離れた会員に高校や飯塚地域のことを出来るだけお知らせ出来ればと頑張っています。今回も、無事、東陵特別版が発刊出来たことは、嬉しい限りです。編集等に携わられた広報部の皆さん、ありがとうございます。

最後に、同窓会会長として至らない点も多々あろうかと存じますが、会員の皆様には引き続き、本校同窓会にご協力をお願い申し上げますと共に、皆様の御多幸と御健勝をお祈り申し上げご挨拶いたします。



同窓会支部だより

総会・懇親会案内【予定】

嘉女・嘉穂東会inくまもと	■開催日:2025年4月5日(土) 11時30分より ■場所:アークホテル熊本城前
関西支部	■開催日:2025年4月19日(土) 受付11時・開会12時より ■場所:天満橋・大阪キャッスルホテル 3F錦城閣 京阪電車/地下鉄・天満橋駅上
東京支部	■開催日:2025年5月24日(土) 13時より ■場所:ホテルグランドアーク半蔵門
福岡支部	■開催日:2025年6月21日(土) 受付:13時・総会:14時・懇親会:15時 ■場所:八仙閣 本店



同窓生だより

嘉穂東高校15期会 傘寿の集い



15回生「永遠の友情を誓って」 傘寿の集い

■2024年11月11日 のがみプレジデントホテル

私たち15回生は1963年(昭和38年)に卒業、1986年(昭和61年)に当番生として同校で同窓会を開催。以来約40年間、人生の節目(還暦・古希・喜寿等)で同期会を開いてまいりましたが、我々も高齢になりお世話をすることが難しくなって、今回で幕閉めすることになりました。

最高の仲間との出会い・沢山の想い出、同期の皆さん本当にありがとうございました。また、地元の役員の方皆さん長い間のお世話ご苦労さまでした。心から御礼申し上げます。

お互いこれからも…いつまでも…お元気で!また再会できたらいいですね!!

山下 鶴男(高校15回生代表世話人)

本年当番 高校52回生からのお知らせ

2025年嘉女・嘉穂東高等学校 同窓会総会・懇親会の案内

スローガン:「東の輪～2025情熱と誇りを持って～」

■開催日/2025年10月25日(土)11:00～ ■会場/嘉穂東高校体育館



2025年度
同窓会総会 実行委員長
三宅 賢
高校52回生

令和7年同窓会懇親会当番生実行委員長、三宅賢です。どうぞよろしくお願いいたします。私達52回生は、「東の輪」をスローガンに掲げ、25年ぶりの同期生との再会、そして友達の輪、東の輪を広げるために学年カラーであった緑をイメージカラーとし活動を行っております。51回生の「東志」(ひむかし)を引き継ぎ、同窓会総会・懇親会の準備を進めている所です。

今年は、会場をのがみプレジデントホテルから母校体育館に移して開催を行うという新たな取り組みにチャレンジしております。これまでとは違ったおもてなしができるように52回生実行委員会を中心に企画・計画中です。

また、同窓会当日は、懐かしい母校の見学もできます。一緒に「楽しい」時間を過ごしましょう!皆様のご参加を心から楽しみにしてお待ちしております。

2025年 嘉女・嘉穂東高校同窓会 実行委員会 委員長 三宅 賢(高校52回生)

同窓会当番説明会 ■2025年2月19日(水)

高校53回生(平成13年卒)、高校54回生(平成14年卒)同窓会委員への当番説明会を立岩交流センターにて開催いたしました。役員会主催で、来年当番を迎える53回生、再来年当番を迎える54回生の同窓会委員を迎え、当番の流れ(実行委員会準備から解散までの概要・組織図の例)を説明いたしました。早めに声掛けをすることにより、10月の総会・懇親会で「次期当番生」としての準備が少しでもスムーズにできればと思います。今年の当番52回生も同席し、今後の情報交換のための顔合わせができました。当番生の皆さんよろしくお願いします。



企画部 部長 眞崎 偉作(高校48回生)

令和6年度 嘉穂東高校同窓会入会式 ■2025年2月28日(金)

卒業式の前日に、母校体育館において同窓会入会式が行なわれました。今年は、210名の卒業生が同窓会の会員となりました。花田同窓会会長からは入会歓迎と同窓会の目的や活動報告、同窓会広報誌「東陵」についても紹介されました。また、今年の同窓会総会・懇親会が母校体育館で実施されるとの報告もありました。各クラスの幹事の紹介があり、幹事代表の横山隼人君が「それぞれの道に進みますが、本校の卒業生としての誇りと同窓会の会員であるという自覚を持ち、日々精進していきます」と力強く挨拶をしました。高校生活で学んだことや出会った友達を大切に、夢の実現に向けて新しい一歩を踏み出してください。

令和6年度 嘉穂東高校卒業式 ■2025年3月1日(土)

卒業式会場に着くと空にかかっていた雨雲は散り散りになり、開式時には晴れ間がみえてきた頃、第77期生210名の卒業式(卒業証書授与式)が執り行われました。今年度の卒業生も昨年と同様にコロナ禍の厳しい状況の中で互いの顔も表情もわからないようなマスク越しの寂しい学校生活のスタートでした。

2年生になるとコロナも少しずつおさまり、学校行事は通常通り行われていきました。3年生になり猛暑の影響でグラウンドでの体育祭が難しく初めて飯塚市総合体育館での体育祭実施となりました。例年通りの競技ができなかったこと、本番会場での限られた練習時間という現状の中で、みんな肉体的にも精神的にも弱りながらも何度話し合いながら嘉穂東校生一丸となって成功させました。努力すること・仲間を大切にすること・挑戦し続けることを経験させてもらった3年間になったそうです。悩み苦しんで仲間とともに協力しあった3年間の日々はこれからの人生において必ずや糧となることでしょう。

卒業生のみなさん一人ひとりの今後の人生が光り輝く素晴らしいものであることを祈念しております。ご卒業、本当におめでとうございます。

広報部 部長 辻塚 恵子(高校42回生)



同窓会役員の紹介

本部役員	
会 長	花 田 正(高23)
副 会 長	原 田 佳 尚(高25)
野見山 洋	子(高25)
精 方 圭	子(高25)
植 野 徹	(高37)
広 報 部 長	辻 塚 恵 子(高42)
企画部 長	大 塚 修 作(高48)
監 事	大 花 村 憲 次(高23)

福岡支部役員	
支 部 長	小 川 民 夫(高20)
副支部長	矢 野 光 代(高8)
藤 山 正 敏(高18)	
野見山 内	真紀子(高19)
事務局次長	宮 野 清 豪(高24)
信 介(高47)	
事務局次長	原 中 圭 子(高35)
広 報 局 次 長	原 田 徹 章(高46)
会 計 人	江 裕 章(高21)
幹 事 長	野見山 武 典(高25)

副 幹 事 長	山 本 美 輝(高38)
会 計 監 査	里 弘 和(高22)
高 尾 英 樹(高28)	
東京支部役員	
支 部 長	伊 藤 房 憲(高20)
副支部長(渉外)	井 手 せつ子(高17)
事務局	田 原 親 志(高20)
副支部長(広報)	柴 田 芳 彰(高22)
事務局員/会計	村 山 夕 紀子(高20)

会 計 監 査	豊 田 俊 文(高18)
鍛 治 礼 子(高22)	
関西支部役員	
支 部 長	長谷川 浩 二(高16)
副支部長	伊 藤 日出雄(高21)
事務局	花 村 二 郎(高26)
会 計 平 田	和 洋(高27)
会 計 監 査	富 家 久 美子(高24)
事 務 局	森 藤 健 文(高50)

本部だより

同窓会 総会・懇親会の報告

■開催日:2024年10月26日(土)
■場所:のがみプレジデントホテル

2024年同窓会本部総会・懇親会が「のがみプレジデントホテル」にて開催されました。総会では提出された全議案が可決され、役員改選による新役員も紹介されました。懇親会のオープニングでは吹奏楽部による演奏、その後校旗入場、そして当番51回生による開会宣言により、待ちわびた時間の幕が開きました。

花田同窓会会長並びに来賓の方々によるご挨拶、そして乾杯。まず還暦を迎える35回生の写真撮影で宴は始まり、ステージは真っ赤なちゃんちゃんこで鮮やかに彩られました。

続いて14回生による詩吟の披露があり、これには11回生方も飛び入り参加、その後29回生と44回生によるハワイアンフラダンスで華やかなステージイベントとなりました。当番生による御神楽演奏とアトラクションは続き、お待ちかねの福引抽選会が賑やかにスタート、会場のあちこちで「やった!」「当たった!」の歓声が響き渡りました。

次回当番生の52回生への引継式を行った後、応援団演奏、そして吾が追憶歌と校歌を会場内でひとつの円になって全員で肩を組んで斉唱し、まさに同窓の絆を感じた瞬間でした。

小川福岡支部長による万歳三唱、最後の閉会宣言では51回生の大会実行委員長が会場中央の渦に上って、来場者全員に向かってお礼のご挨拶、来場者を感動の渦に旧役員から花束をいただくサプライズも。

今回当番51回生の皆さんは新たな試みで「当番生負担金」を徴収しないという選択のもと、多くの苦労を経てここまで辿り着きました。本当にお疲れ様でした、そして素晴らしい感動をありがとうございました。

広報部 部長 辻塚 恵子(高校42回生)



同窓の絆を感じた瞬間



同窓会支部だより

総会・懇親会・同期会

第19回 嘉女・嘉穂東会 inくまもとの報告
■開催日:2024年4月6日(土) ■場所:アークホテル熊本城前

今回も同じ時期に、同じ場所で会を持てましたことを、心よりお礼申し上げます。本部より花田会長ほか2名の役員の方、福岡支部より幹事長、事務局長様、母校より篠崎校長、嘉穂高校熊本支部副支部長様、今年度実行委員の皆様など、31名のご参加を頂きました。

初参加の21回生の方は長く熊本にお住まいだったということで、同窓生捜索にはまだまだ力を入れていかなければならないと痛感いたしました。

嘉女28回 佐藤様、3回 戸田様と、3月に高校を卒業して、熊本の大学に進学した76回 山本さんが仲良く写真を撮られていたことは、感慨深いことでした。恒例の「熊本城城主くじ」は鹿児島から毎年ご参加の16回 高盛様が見事に引き当てられました。

校歌斉唱では、50回 荻野さん、森藤さんの本物の応援団のリードで、大変盛り上がりました。

「人生100年時代」の到来と言われています。楽しいセカンドライフの真ん中に、同窓会があると思っています。

2025年も4月第一土曜日に開催の予定です。皆様どうぞ、熊本におくください。

代表 畠山 祐子
(高校32回生)



▲熊本城と加藤清正公像



▲春のハイキング ▲秋のハイキング

第16回 総会・懇親会成功をめざして!
■開催日:2025年4月19日(土)(予定)
■場所:天満橋・大阪キャッスルホテル
3F錦城閣 京阪電車/地下鉄・天満橋駅上

第15回の総会・懇親会を令和6年4月20日へ向け、「なんとか会員で50名参加してもらおう」と案内状への「幹事からの手書き手紙」の封入や電話での呼びかけなど行いました。会員51名、来賓など18名。合計69名の参加で、賑やかに開催することができました。

その後、5月25日に「古都の新緑を味わう」ハイキングを17名の参加で取組みました。東山のインクラインから琵琶湖疎水(記念館含む)、南禅寺巡り参加者も満足の様子でした。

11月23日には大河ドラマ「光る君へ」と関連させて宇治へ紅葉と「源氏物語ミュージアム」を楽しむ秋のハイキングを19名で実施。歴史と紅葉、和食食恵親を楽しむことができました。

さて、第16回総会・懇親会を令和7年4月19日に予定し、幹事・役員は今回も「会員参加50名」を目指し、案内状に記名の「お誘い手紙」を入れたり電話での呼びかけを強めています。

懇親会ではいつもの様に「長寿祝い」「大福引き大会」「会員作品展」「当番生のビデオ」等に合せ、幹事の50回生宮有さん(作業療法士)による認知症予防講座「脳が喜ぶエクササイズ」をお聞きする予定です。

今回の総会では新たな役員を選び、心機一転して支部活動を進める所存です。しかし諸物価の高騰、郵便料金の値上げなどが財政を圧迫しており、LINEやメールを使った資料送付などコスト削減に励まなければなりません。そんな状況の中でも、何より心も心のこもった呼びかけや企画で繋がりを広げることを大切にしたいと考えています。

関西支部 支部長 長谷川 浩二(高校16回生)

東京支部総会・懇親会の報告

■開催日:2024年6月1日(土)
■場所:ホテルグランドアーク半蔵門

6月1日(土)に東京支部総会・懇親会を昨年と同様のホテルグランドアーク半蔵門で開催し、82名の方々に参加して頂きました。

総会では、前年度の活動・決算報告、今年度の活動予定・予算案が審議され承認されました。懇親会では、同窓会本部から花田正会長をはじめ本部役員の方々、本校から篠崎博校長、飯塚市からは藤江美奈副市長にご出席いただき、筑豊地区の4つの高校の同窓会及び県人会からも来賓参加があり、皆様と広く交流を図ることができました。

和やかな歓談の後には卒業年次ごとにメンバーが壇上に上がり、自己紹介・記念写真を撮る時間を設けました。その後、出身中学ごとに壇上に上がり、恒例となった中学校歌を伴奏に合わせ歌いました。この試みは毎年、参加者の新たな発見と出会いを生み、楽しい催しとなっています。そして当番幹事によるくじ引きイベントでは、景品として福岡の名産品を厳選し楽しんで頂きました。

今回の東京支部当番は24回生で、全員が初参加でしたが、関東から4名、福岡からも2名の方の参加があり、当番幹事長の服部さんのもと少数精鋭で一致団結しての頑張りにより、賑やかな催しとなりました。新たに生まれた24回生の絆、心強く思いました。また、懇親会の司会では俳優として活躍中の51回生の芳野友美さんにお手伝いいただくという華やかな演出もありました。

終盤は、前年の本部当番50回生のお礼の挨拶、本年度の本部当番51回生による飯塚本部同窓会のお知らせがあり、最後に50回生による力強い応援エールに続いて皆で校歌を合唱し、来年の再会を強く約束してお開きとなりました。ご参加の皆様、誠にありがとうございました。

東京支部 支部長 伊藤 房憲(高校20回生)



第31回 福岡支部総会・懇親会の報告

■開催日:2024年6月22日(土) ■場所:八仙閣 本店

2024年6月22日(土曜日)、福岡支部の同窓会が、昨年同様コロナ禍による人数制限もなく、しかも盛況裡に終えることが出来ました。喜ばしい限りです。役員、幹事の皆さん、本当にお疲れさまでした。そして50回生の当番幹事の皆さん、当日の運営に多大なるご協力をいただきありがとうございます。

また、お忙しい中、同窓会本部から花田会長、本校から篠崎校長、東京支部から田原副支部長、熊本から畠山代表をはじめ多くのご来賓の方々にもお越し頂きありがとうございます。

さて、会場の八仙閣本店では、前年と変わらない総勢約120名の同窓生が集まって、久しぶりの再会に話が盛り上がり、校歌や追憶歌を歌ったり、また恒例になりました「どんたく総踊り」では皆がシャモジを持って輪になって踊ったり、歌ったりの楽しい懇親会となりました。

懇親会前に行われた総会では、前年の決算と役員改選案および本年度の事業計画案・予算案を原案通り承認頂きありがとうございます。総会議決案では40回生・林田英二氏から「お菓子と私の人生」と題してクッ



キーを食べながらの楽しい雰囲気の中、「何事も諦めないことが勝利の秘訣だ」など有意義な話をさせていただきました。ありがとうございました。

ところで、前年は福岡支部創設30年という記念すべき年でもありました。30年前、先輩方が苦勞して作られ、これまで守り育てていただいた同窓会福岡支部です。我々役員・幹事一同は、持続可能な同窓会という視点で、「参加して楽しかった、次も行きたい。」とわくわくするような魅力的な会になるよう、みなで力を合わせて頑張っていく所存です。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

福岡支部 支部長 小川 民夫(高校20回生)

母校だより

母校副校長 太田 邦彦

個別最適な学びと協働的な学びの促進



グローバルな視点に立った発信力をもち
地域に活躍する人材の育成

いずれの写真も、片島小学校の児童との交流風景です。戦時訓練を見守る本校生徒が見られる昔とは異なり、今は児童と英語のプログラムで交流する姿が御覧いただけます。時代の違いはいえ、地域交流の伝統があり、その中で生徒は多くのことを学んでいます。



デジタル・シティズンシップの育成



地域社会や自国の文化への理解を深め
地域で活躍する人材の育成

昔の写真は、戦時体制の中で選炭作業に従事する本校生徒の様子です。「地域協力」は、現在、飯塚山笠への参加、飯塚のかち歩き大会へのボランティア参加などへと変わり、体験的活動から深い学びを行っています。



同窓会給付型奨学金授与式 ■2024年3月14日(木)

花田同窓会会長はじめ副会長3名、部長1名、副部長1名出席の下、第76期生を対象とする同窓会給付型奨学金授与式が校長室にて執り行われました。学校長をはじめ担当の先生方、保護者の方に見守られる中、花田会長より3名の生徒に奨学金が手渡されました。学校長の推薦により、学業や行動面で模範となるような生徒に対して奨学金を授与することで、在学生の意識やモチベーションを高め、学校生活の一層の充実を図ることに繋がるものとして今年で10回目となる行事です。対象に選ばれた3名の生徒からは「先生になって母校で働きたい」、「社会福祉士になりたい」、「情報系の仕事がしたい」といった希望に満ちた夢と決意が語られ、花田会長が「半年後または1年後に大学生活を振り返って、それぞれが経験したことを手紙で伝えて欲しい」とお願いしたところ、みんな快諾してくれました。

楽しいことや苦しいこと、これから色々な出来事があるでしょう。夢に向かって、それらを乗り越え、成長していくのことも楽しみます。

こうして奨学金授与の様子を皆様にお知らせすることで、スクールサポーターの輪が広がっていくことを願っています。さらなるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

広報部 廣瀬 千鶴枝(高校30回生)



スクールサポーター募集について

「嘉穂東高校同窓会奨学金」制度が創設され毎年数名の生徒に授与しております。さらに1名でも多くの生徒への授与を目的として、「スクールサポーター」というかたちで、嘉穂東高校同窓会への寄付金を受け付けております。1口2,000円となっており、5口以上の企業・団体・個人の方は、ご希望により同窓会ホームページ内のバナーに掲載・ご紹介させていただきます。下記の郵便振替にてお申込みください。

◎郵便振替:新飯塚駅前郵便局[01790-8-142749]「福岡県立嘉穂東高等学校同窓会」

◎スクールサポーターについてのお問い合わせは、(satsumama0602@outlook.jp) 広報部 部長 辻塚(高42回)まで

スクールサポーター企業のご紹介(50音順・敬称略)

■秋好高美(高40回生) ■株式会社アークホームズ(高31回生) ■飯塚信用金庫(卒業生多数) ■井上洋服店(高24回生) ■今心機(高32回生他) ■筑豊情報マガジン WING(高51回生) ■株式会社エース・デンタル(高30回生) ■Enishi CM Technology株式会社(高30回生) ■榎本多賀子(高30回生) ■大塚修一(高19回生) ■大塚石材株式会社(高32回生) ■OKINAWA KISEKIHOUSE EAST&WEST(高30回生) ■オートテクノ(高46回生) ■廣子 健佳(高30回生) ■月光(高41回生) ■株式会社クボイ(高44回生) ■医療法人康和会「アイ歯科医院」(高17回生他) ■佐野医院(高24回生) ■株式会社電設(高49回生) ■株式会社運輸(高31回生) ■社会福祉法人清知会「なつき保育園」(高32回生) ■株式会社(卒業生多数) ■ジーンズショップナカム(高31回生) ■株式会社ナカ建設(高44回生) ■中嶋プロパティ(高35回生) ■株式会社建設(高39回生) ■株式会社(高29回生) ■株式会社ネストジェネレーション(高41回生) ■秋のがみ「のがみ総合グループ」(卒業生多数) ■野見山洋子(高25回生) ■株式会社(高30回生) ■花田正(高23回生) ■花村電設(高25回生) ■原田敏規(高23回生) ■廣瀬千鶴枝(高30回生) ■フェーズワンジャパン株式会社(高30回生) ■株式会社(高24回生) ■松尾等(高32回生) ■松本 益美(高12回生) ■南マルイチ商会(高31回生) ■三橋 裕子(高31回生) ■村上上ホーム(高24回生) ■吉岡スタジオ(高17回生) ■東生命保険代理店佐藤伸一朗(高28回生) ■株式会社(高30回生)

常時受付中!